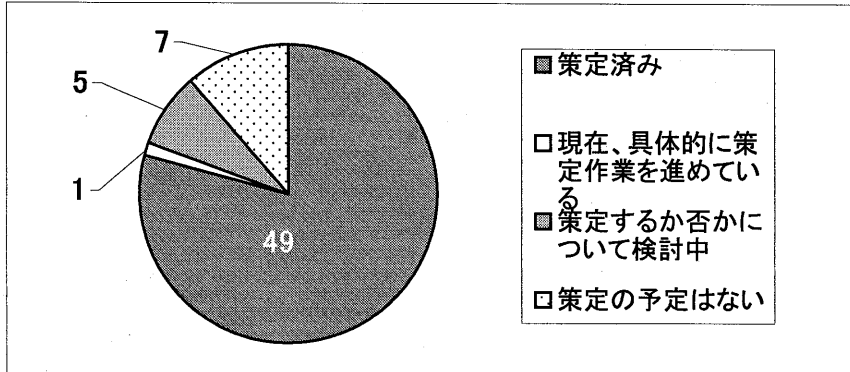


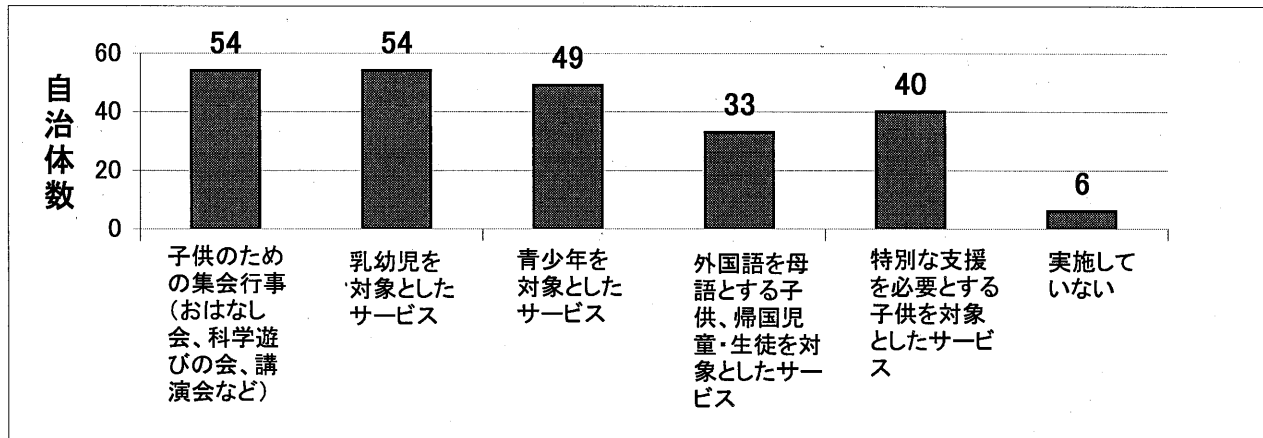
平成25年度【調査4】子供の読書活動推進に関する調査
(子供の読書活動主管課) 結果

条例により図書館を設置している区市町村数 58

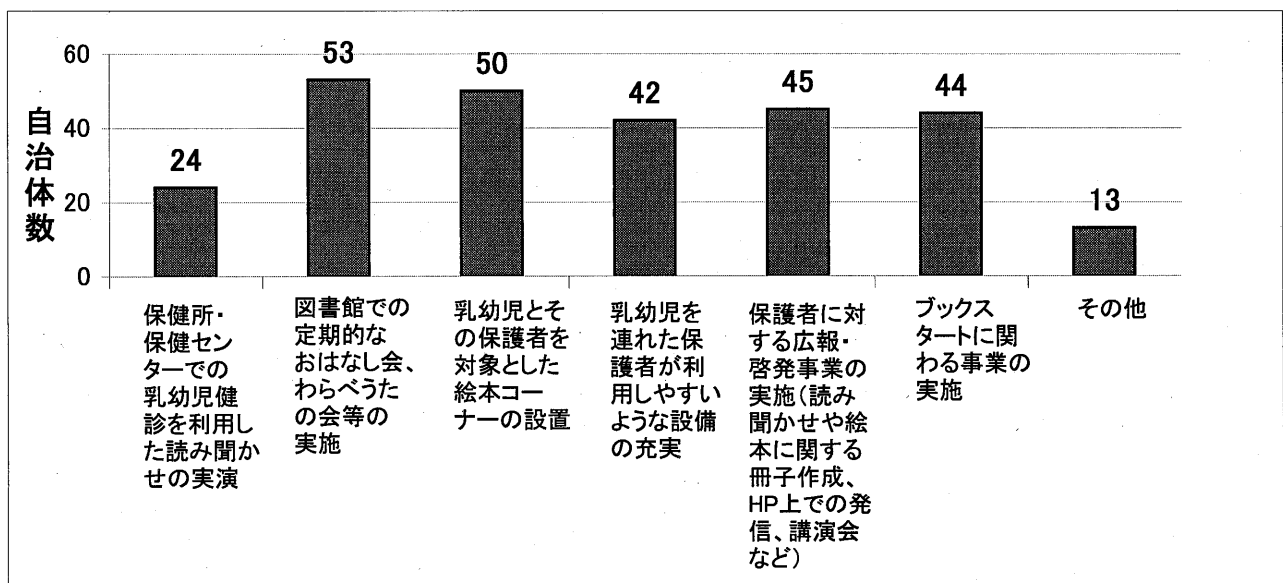
問1 貴自治体において「子供読書活動推進計画」を策定されていますか



問2 公立図書館で以下のサービスを実施していますか。(複数回答可)



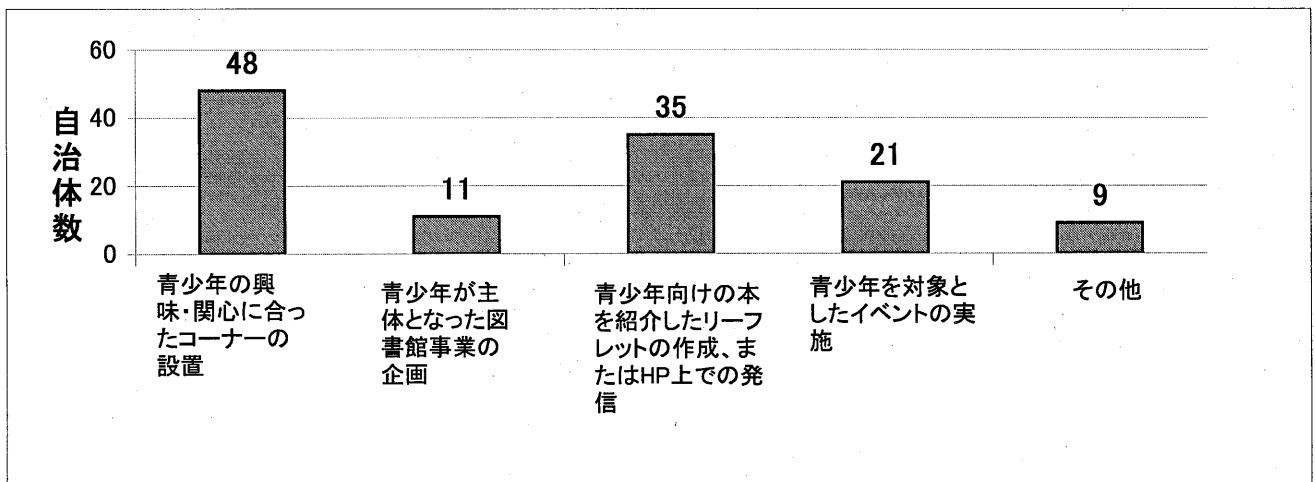
問2-2 2「乳幼児を対象としたサービス」を選択した自治体にお聞きします。具体的にどのようなことを行っていますか。(複数回答可)



2-2【その他】の具体例

- 保育園へ出張図書館サービス(おはなし会)の実施、子ども読書週間行事での乳幼児向けおはなし会の実施
- 地域の児童センターと連携して絵本講座などを開催、病院でのおはなし会、手作り会の実施、人形劇の開催
- 区内7か所の子育て支援センターにておはなし会実施
- 区内医療機関 約40か所において乳児ブックリスト掲載本を33冊設置。乳児ブックリストを配布。児童館等で保護者向けに絵本講座を実施。講話を行い、読書活動の啓発を図る。
- 保健センター等で行う乳幼児健診でのブックスタート事業において、赤ちゃんに対する読み聞かせなどにより、コミュニケーションの大切さを伝える。
- 「図書館・児童館などで催す絵本サロン、わらべうたサロン、おはなし会、子育てガーデン(赤ちゃんと一緒に音楽やオペラを体験)などを保護者と乳幼児がともに楽しむきっかけとしている。
- さらに3歳児絵本プレゼントで図書館に誘い、幼児へのおはなし会などを通して読書活動を促す。赤ちゃんに読み聞かせする保護者のために、初心者に対する読み聞かせの講座を催している。
- また、ブックスタート、絵本サロンなどかすかすの事業は、ボランティアグループが担っているの、新たなボランティアの育成、グループのメンバーのステップアップのため、児童サービスボランティアのための講座も設けている。
- セカンドブック事業(対象:3歳児)
- ブックスタート事業を0歳児のみでなく、3歳児にもフォローアップ事業として実施している。
- 市内子育て支援施設等を対象とした「絵本パック」の設置
- 府中市子ども読書活動推進連絡会主催による「絵本だいすき おはなしキャラバン」の実施(春・秋 各6回 市内公共施設を利用)
- ブックトークを希望する保育園にブックトークをしている。
- 市内の子育て支援施設への「おすすめ絵本パック」(絵本20冊)の設置と、「乳幼児への読み聞かせボランティア」の派遣によるおはなし会の実施。
- 保健センターでの乳幼児健診「受付」会場で、保護者へ「図書館の利用案内を付したおすすめ絵本を載せたパンフレット」を配布
- 子育て講座(子ども家庭センター)、両親教室(母子・予防係)へ協力

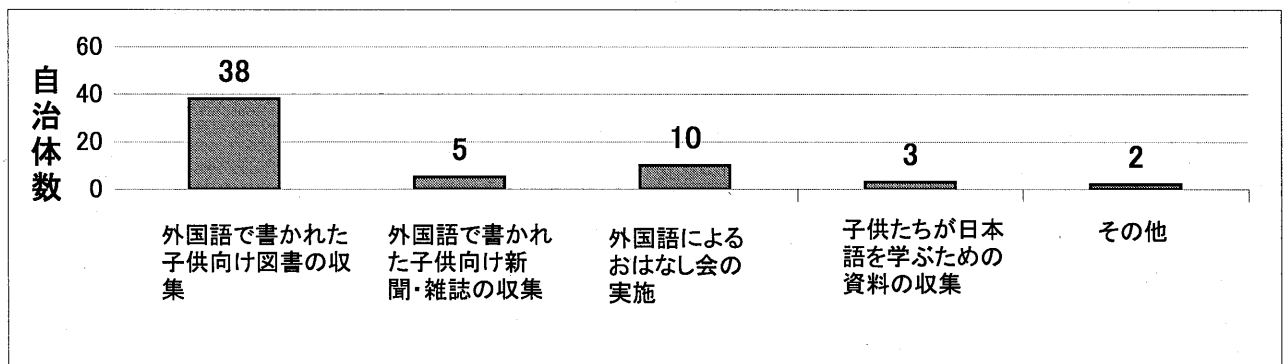
問2-3 3「青少年を対象としたサービス」を選択した自治体にお聞きします。
具体的にどのようなことを行っていますか。(複数回答可)



2-3【その他】の具体例

- 職場体験実習の受入れ、一日図書館員体験行事の実施、中高生懇談会の実施
- 公募による編集委員が青少年向け広報誌を発行する。
- YAコーナー書架を全館に設置している。YAブックリストを作成している。
- 小中学校でのボランティアによる読み聞かせ・ブックトークなどの支援をする。
- ボランティアの育成のため、初心者・初級・中級・ステップアップといった段階を踏んだ講座を開催している。
- 小学生高学年については「子ども一日図書館員」として図書館のお仕事体験を、区内各館において、夏休みに開催している。
- 青少年のためには区内各館でYAコーナーを設けて図書の紹介をしたり、中学生の職場体験学習での図書館作業体験、ポップ作成やビブリオバトルの実施をしている。今年は特別支援学校高等部、私立中・高校からの希望者への職場体験も行った。
- 中央図書館では、このほかにおしゃべりも可能なYAスペースを設けたり、夏休みの学習室の増席を図っている。また、夏休みには、読書会・ビブリオバトルを中高生対象で開催した。
- 青少年を対象としたテーマ展示の実施
- 学校案内(多摩地域周辺の高校・大学案内)を収集し閲覧コーナーを整備
- 「図書館学生ボランティア」事業
- YAコーナーにYAノートの設置
- 青少年を書き手としたYA機関紙の発行

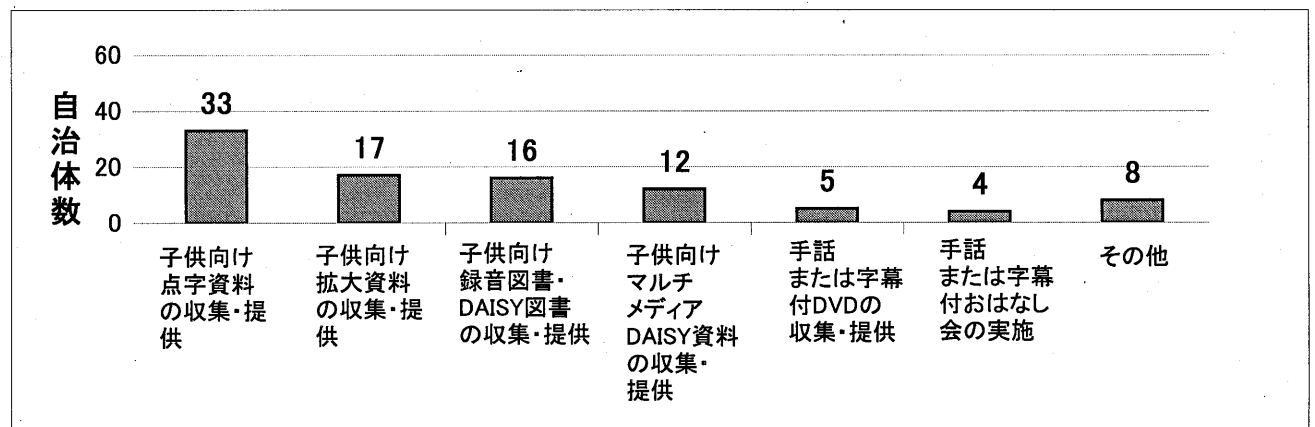
問2-4 4「外国語を母語とする子供、帰国児童・生徒を対象としたサービス」を選択した自治体にお聞きします。具体的にどのようなことを行っていますか。(複数回答可)



2-4【その他】の具体例

- 中央図書館児童室のおたよりの英語版を作成
- 英語版の児童向け利用案内を配布している。今後は中国語、韓国語版などを作成予定。

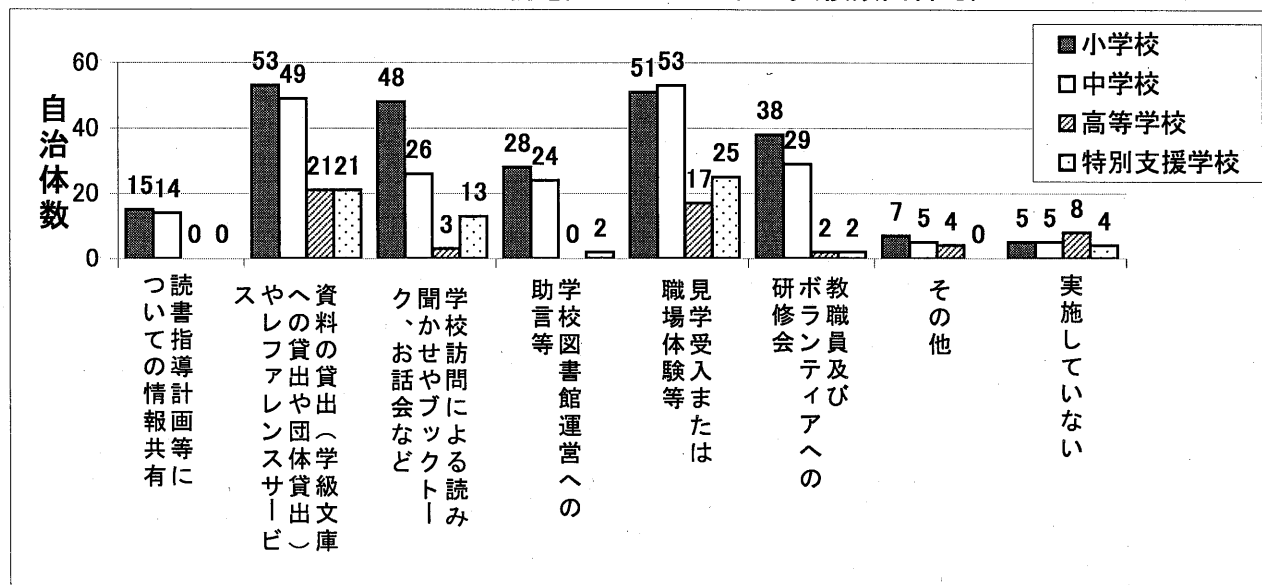
問2-5 5「特別な支援を必要とする子供を対象としたサービス」を選択した自治体にお聞きします。具体的にどのようなことを行っていますか。(複数回答可)



2-5【その他】の具体例

- 小学校等からの要望により、出張おはなし会を実施している
- 子ども向けさわる絵本の収集・提供
- 対面朗読
- 障害児(未就学児)を対象とした施設への出張おはなし会と本の貸出の実施
- 布の絵本・さわる絵本・手話つき絵本・LLブック等の収集、提供
- 布の絵本・絵本・手遊び・わらべうた等の内容でおはなし会を実施
- 市販のさわる絵本・布絵本の収集をしている。
- 通級学級でお話会を実施。
- 特別支援学級向けの絵本やパネルシアター等を使ったおはなし会

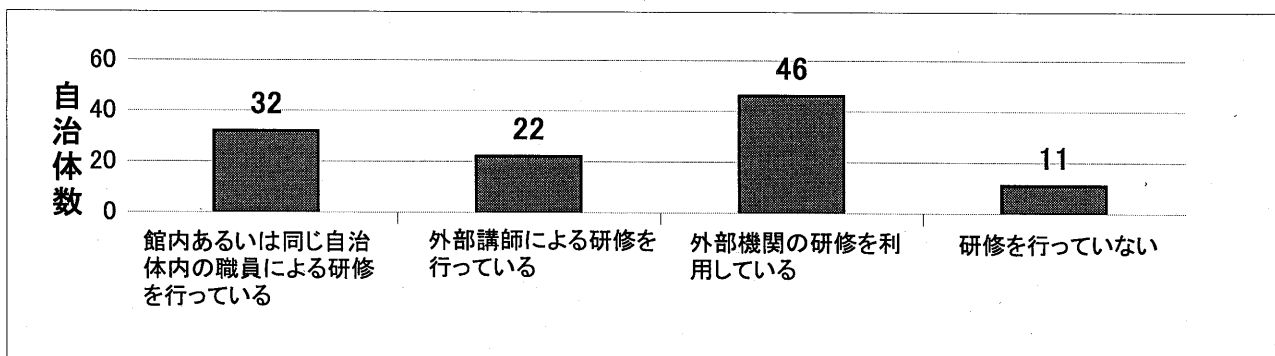
問3 公立図書館では、地域の学校との連携を実施していますか。(複数回答可)



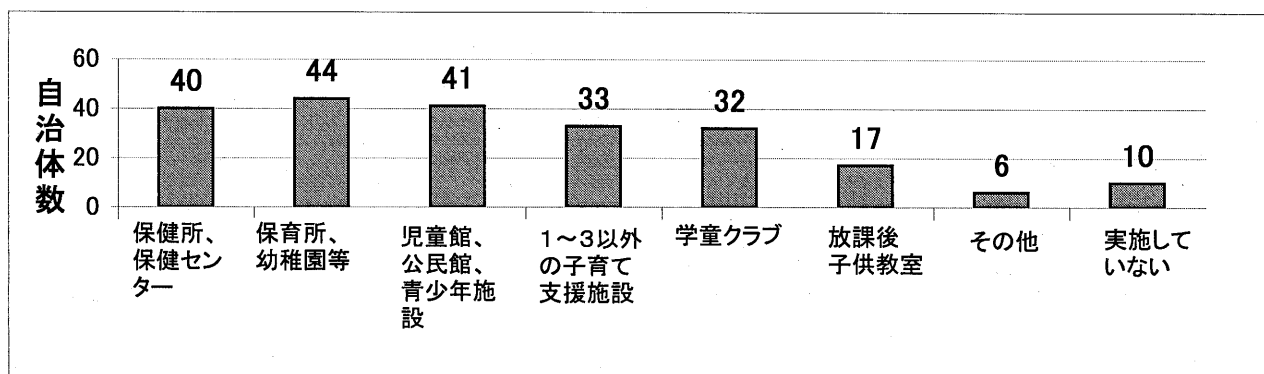
3【その他】の具体例

- 区内小中学校への図書館新聞の配布、図書紹介リーフレットの配布、公共図書館システムと学校図書館システムとのオンラインネットワーク、学校図書館運営支援スタッフの配置
- 出前授業
- 小学校で配布する「夏休みにすすめる本」(低・中・高)の選書協力、調べ学習支援(ゆうパックでの配送)
- 生徒によるおはなし会の実演
- 図書室資料の整備を支援。学校図書館システム運営支援。具体的には、図書購入の際の資料登録、児童生徒の登録、資料の廃棄助言などを行っている。
- 市立小学校3年生の全てのクラスへの読書の動機づけ指導(年1回)
- 子ども読書活動推進事業「中学高校生の読書フォーラム」実行委員会への委員を推挙していただいている。
- 学校図書館相談員の巡回相談、学校図書館協力員の配置(市内全小・中学校各1名)
- 学校司書への研修、支援
- 高等学校:「奉仕」授業の一環で、おはなし会(月1回第2土曜日)での高校生による読み聞かせ

問4 公立図書館では、館内職員に向けた研修を行っていますか。(複数回答可)



問5 公立図書館や学校以外での公的機関において、子供の読書活動推進を実施していますか。(複数回答可)

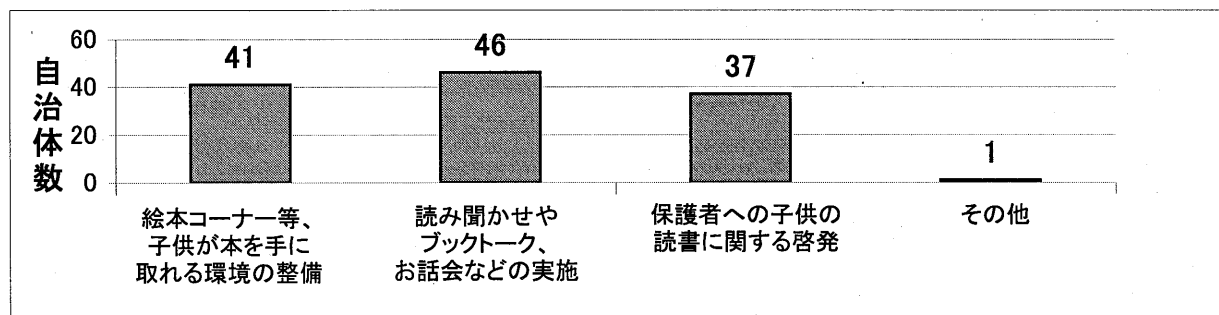


5【その他】の具体例

- 施設等から要望があった場合、職員やボランティアが出張読み聞かせを実施。ブックリストの配布
- 病院、区民センター
- 子どもスキップ(小学生のための放課後対策事業)、郷土資料館
- 障害者センターで、通所の方(年齢は中学卒業以上)におはなし会を開催している。
- 把握していない
- 市役所内の子育て支援課で行う、子育て相談時における読み聞かせ

問5-2 問5で1～6を選択した自治体にお聞きします。具体的にどのようなことを行っていますか。(複数回答可)

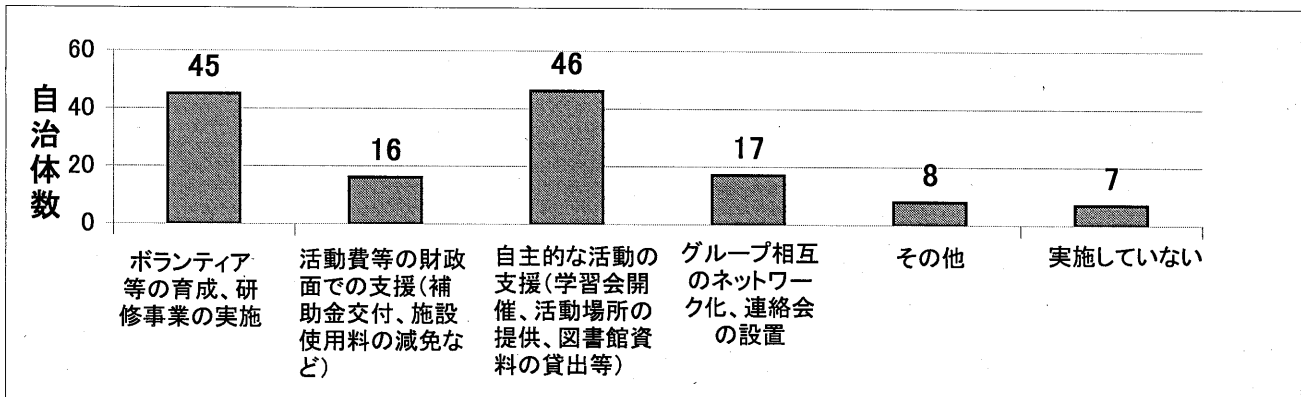
具体的にどのようなことを行っていますか。(複数回答可)



5-2【その他】の具体例

- 図書に関連した人形劇、映画の鑑賞会

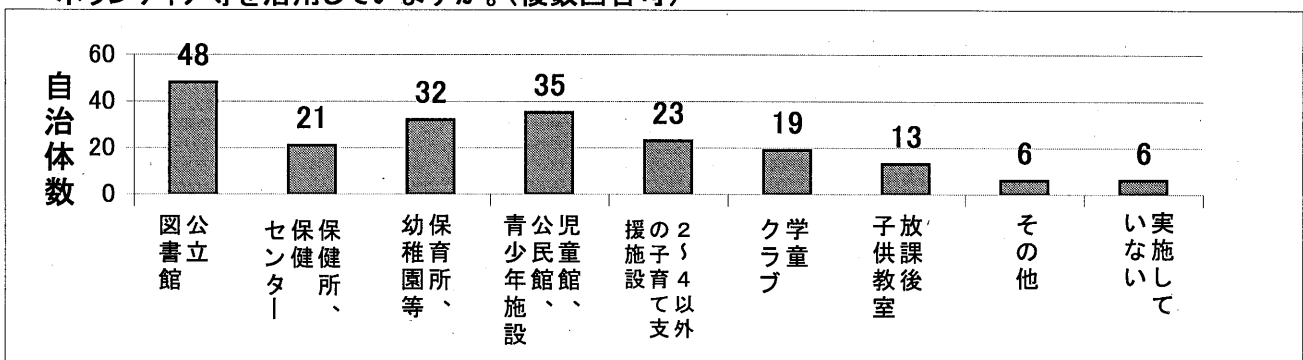
問6 貴自治体では、家庭文庫、地域文庫、読み聞かせグループ及びボランティア（以下「ボランティア等」）に対する支援を行っていますか。（複数回答可）



6【その他】の具体例

- 教育委員会指導室が区立小中学校図書館に有償ボランティアを配置し、図書館は年2回程度研修を兼ねた連絡会を実施。
- ボランティアのネットワーク化を目指して、ボランティア連絡調整会を昨年度3回実施した。
- 地域家庭文庫に対し、年に2回、「図書資料の貸与」という形で文庫用図書資料を図書館で購入し、提供
- 「北区図書館活動区民の会」を立ち上げ、この中に読み聞かせなど児童サービスボランティアのグループも加入し、個々のグループや、グループが集まっての活動を行っている。研修もグループごとに行うもの（区の支援としては場所を提供する）、図書館や区民の会で開催して必要なボランティアなり希望者なりが受けられるものがある。
- 公共図書館と文庫との連絡協議会を定期的に行い、情報交換を行っている。
- ボランティア団体や学校図書館の活動を紹介する目的で「子ども読書まつり」を実施している。
- ボランティア運営の移動図書館（車両）の車両管理及び必要雑費支援と事務支援
- 九月に朗読ボランティアの受入れをおこなった。

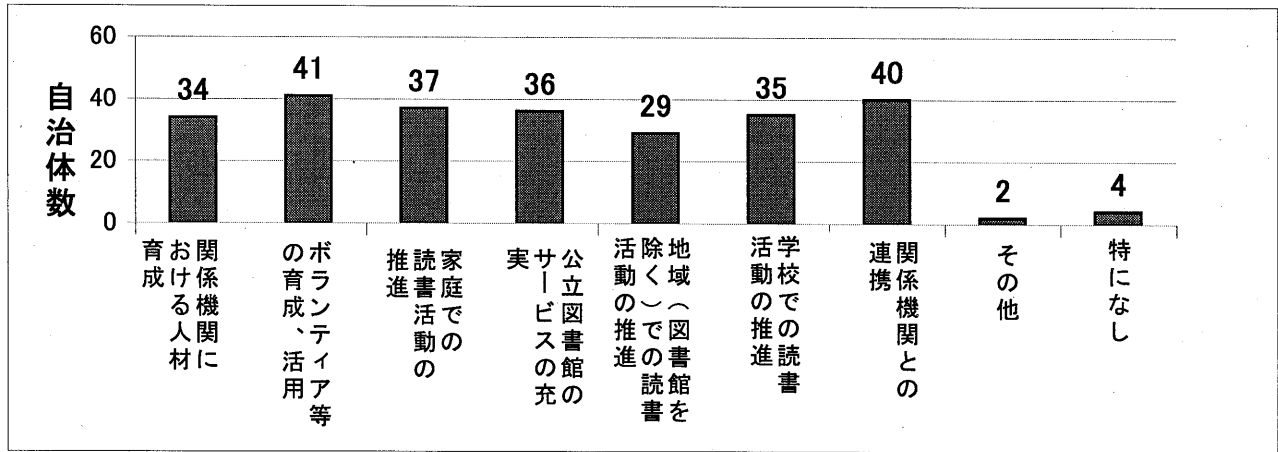
問7 学校以外の各公的機関において実施されている子供の読書活動においてボランティア等を活用していますか。（複数回答可）



7【その他】の具体例

- 地域読み聞かせボランティア紹介リストの活用のPR
- 子どもスキップ
- 公立図書館以外の把握はしていない
- 図書館がない

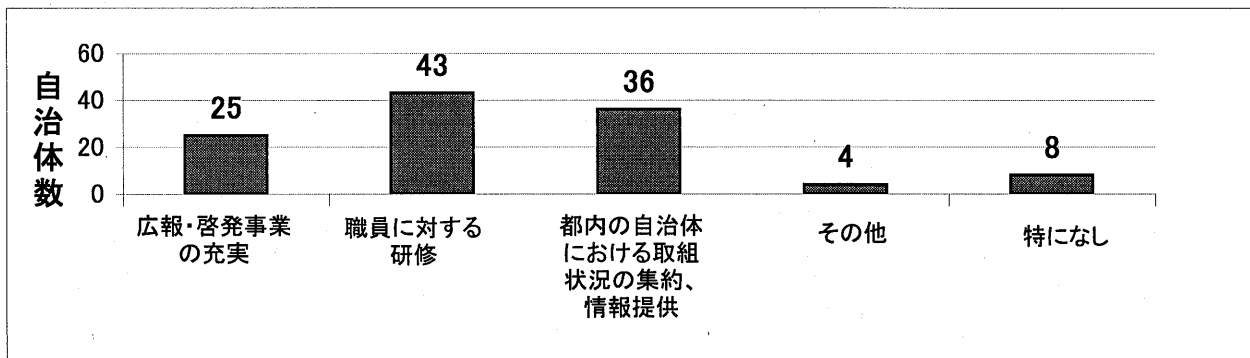
問8 貴自治体において子供の読書活動を推進していく上での課題は何ですか。(複数回答可)



8【その他】の具体例

○家庭や学校、YA世代を対象に事業を実施しているが、十分ではないと考えている。それぞれどのような支援を構築することで図書館にきてもらうことや、個々の読書活動が推進できるか、課題である。
 また、外国語を使用する児童生徒、特別な支援を要する子どもについての支援は、個別の事情もあり、実際に図書館として可能であって求められる内容を把握していく必要がある。
 ○職員の研修・育成(嘱託含む)

問9 今後の子供の読書活動推進にあたり、都(都立図書館)に望む施策(充実・拡充含む)はありますか。(複数回答可)



9【その他】の具体例

○図書館で行うサービスについてなど、発信が不足している部分もあり、ホームページやその他の広報を充実させるための支援があるといい。
 課題となっていることへの対応例や、特別な支援を要する子どもに対する支援の例や子どもという年齢層のみならず不登校や引きこもりの方への支援など、事例の少ないものについても、具体的に進めていく対応を示してもらえるとヒントになる。
 ○小中学校の図書購入費補助やシステム化推進への費用補助
 ○読み聞かせボランティア養成講座の充実、講師派遣の充実
 ○離島のため、研修に参加するのが難しい。講師派遣を行ってもらえると、職員だけでなく保育士、ボランティアなど多くの方が参加するのではないか。